

令和 6 年 10 月 日

各 { 幼稚園
幼稚園型認定こども園 } 御中

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

文部科学省 令和 6 年度幼児教育の学び強化事業
「幼稚園教育要領等に基づく幼稚園等における教育活動の実施状況調査」
アンケートへのご協力をお願い（案）

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社においては、文部科学省より委託を受け、令和 6 年度幼児教育の学び強化事業「幼稚園教育要領等に基づく幼稚園等における教育活動の実施状況調査」を実施することとなりました。

本アンケートは、幼稚園等における幼稚園教育要領等に基づく教育活動等の実施状況を把握し、今後の幼児教育政策の検討に資する基礎資料を得るために、全国の幼稚園・幼稚園型認定こども園（抽出）を対象に実施するものです。

つきましては、ご多用の折大変お手数をおかけいたしますが、本事業の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、調査の結果につきましては、令和 7 年 4 月以降に文部科学省のホームページ等において公表される予定です。

【調査実施機関】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

【本件に関するお問い合わせ先】

政策研究事業本部 社会政策部 幼稚園等における教育活動の実施状況調査事務局
(担当：喜多下、野田、横幕、李)

電話：03-3496-3329（祝日を除く月～金、10:00～12:00、13:00～17:00）

e-mail：youji2024@murc.jp

※お問い合わせに際してお預かりする氏名、ご連絡先等の個人情報は、当社の「個人情報保護方針」
(<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>) 及び「個人情報の取扱いについて」
(<https://www.murc.jp/corporate/privacy02/>) に従って適切に取り扱います。

園 ID :
園パスワード :

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社から 10 月上旬に直接送付される実施要領に記載があります。

文部科学省 令和 6 年度幼児教育の学び強化事業
「幼稚園教育要領等に基づく幼稚園等における教育活動の実施状況調査」

アンケート調査実施要領（管理職向け）

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

本調査は、文部科学省より委託を受け、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社が実施しております。本「アンケート調査実施要領」をご参照いただき、ご案内しております Web 上のアンケート調査サイトにご回答を入力いただきますようお願い申し上げます。

I. 調査目的

- 本アンケートは、全国の幼稚園・幼稚園型認定こども園（抽出）の皆様を対象に、幼稚園等における教育活動等の実態を把握し、今後の幼児教育政策の検討に資する基礎資料を得るために実施するものです。本調査の結果につきましては、令和 7 年 4 月以降に文部科学省ホームページ等において公表される予定です。
- アンケートの結果は統計的に処理されますので、個別の園の情報が公表されることはありません。
- ご多忙中とは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

II. 同封している資料について

- 依頼状：本調査への回答のご協力依頼を記載しています。
- 管理職向け調査実施要領（本紙）：園の管理職の方にご回答いただくアンケート調査の回答に必要な園 ID・パスワード、回答方法等を記載しています。
- 各学年担当教員向け調査実施要領：各学年の学級担任の皆様（各学年で 1 名の方）にご回答いただくアンケート調査の回答に必要な園 ID・パスワード、回答方法等を記載しています。

III. 【管理職様へ】管理職向け調査のご回答方法・期限

- 管理職様におかれましては、インターネット上で、下記の URL にアクセスのうえ、「管理職向け調査」へのご回答をお願いいたします。アンケートサイトにアクセスすると、園 ID および園パスワードの入力画面が表示されます。本紙左上に記載の情報をご入力のうえ、ご回答ください。
- アンケートサイトへアクセスするためには、アドレスバーに URL を直接入力してください。Google、Yahoo！等の検索では正しいサイトが表示されないため、ご注意ください。
- 調査票見本は、アンケートサイトのトップページに記載のリンクからダウンロードいただくことができます。
(Web で回答いただきますので、記入済みの調査票をご返送いただく必要はありません。)
- アンケートサイトへアクセスできない場合や、調査票見本をダウンロードできない場合は、事務局あてにメール (youji2024@murc.jp) をいただければ、調査票データをメールまたは紙にて送付いたします。

管理職向けアンケートサイト URL <https://rsch.jp/eqt3/?youji2024>



園 ID	<input type="text"/>	① 本紙左上記載の ID、パスワード（半角英数字）を入力してください。
パスワード	<input type="text"/>	
園 ID、パスワードを入力して、 「アンケートに参加する」ボタンをクリックしてください。		② 入力後、このボタンを押して、アンケートにご回答ください。
<input type="button" value="上記に同意してアンケートに参加する"/>		

※園が休園中または廃園の場合は、本調査へのご回答は不要です。

入力期限は **令和 6 年 11 月 1 日（金）** です。期限までに入力をお願いいたします。

Ⅳ. ご回答いただくにあたって

● 利用目的

- ご回答いただいた内容は、今後の幼児教育政策の検討の基礎資料としてのみ利用いたします。また、すべて統計的に処理されますので、個々の調査票のご回答や結果が、調査実施者以外に知られることはございません。

● 回答方法について

- このアンケートは、特に期日を明記している設問以外はすべて今年度の状況や予定でお答えください。
- 「1つ選択」「いくつでも選択」など回答数が指定されています。あてはまる項目にその数だけ選択してください。また、設問によっては、回答を具体的にご記載いただくものもあります。
- 数字をご記載いただく設問について、該当する人等がない場合は「0」とご記載ください。
- Webでご回答いただきますので、記入したアンケート票見本はご返送いただく必要はございません。

● 回答の所要時間について

- 回答にかかる時間は、約 25 分です。

● アンケートサイトの機能

- 途中保存・回答再開**：アンケートに途中まで回答し、画面を閉じた場合（回答を中断した場合）、続きの設問から回答することができます。**※途中保存後の回答再開には、園 ID・園パスワードの入力が必要です。**
- 回答の修正**：「送信ボタン」を押す前であれば、前の設問に戻って、回答を修正することができます。一方、前の設問まで戻ると、その設問まで入力いただいた回答はクリアされてしまいますのでご注意ください。**※回答の修正には、園 ID・園パスワードの入力が必要です。**
- 回答内容の出力**：回答の送信前に、全設問の回答内容が一覧として表示されます。回答内容の一覧ページを印刷していただくことで、お手元に回答の控えを残すことができます。
- 回答の確定**：最終の「送信」ボタンを押すと回答が確定されます。**回答確定のために、必ず「送信」ボタンを押してください。**なお、その後、回答の修正ができなくなりますので、ご注意ください。

◆問い合わせ先◆

【調査実施機関】

三菱 UFI リサーチ&コンサルティング株式会社

○本調査の設問の内容等について	○アンケートサイトでの操作に関するご不明点について
三菱 U F J リサーチ&コンサルティング株式会社 幼稚園等における教育活動の実施状況調査事務局 担当：社会政策部 喜多下、野田、横幕、李 (受付時間：平日 10 時～12 時、13 時～17 時 ※祝日は除く) 電話番号：03-3496-3329 E-mail： youji2024@murc.jp	アンケート TOP 画面の「お問い合わせ窓口」の連絡先もしくはフォームよりご連絡ください。 担当：株式会社クロス・マーケティング (サポート対応時間：平日 10 時～18 時)

※お問い合わせをいただく際は、下記、個人情報の取扱いに同意の上、ご連絡いただければと存じます。

◆個人情報の取扱いについて

- お預かりする氏名、ご連絡先等の個人情報は、本調査の問い合わせへの回答に関するご連絡の目的に限り利用し、厳重に管理いたします。
- お預かりする個人情報は、当社の「個人情報保護方針」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>) 及び「個人情報の取扱いについて」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy02/>) に従って適切に取り扱います。
- お預かりする個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。
- お預かりした個人情報は、本事業担当である文部科学省に対して提供することがございます。また、業務委託により当社以外の第三者にその取り扱いを委託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報を適切に取り扱います。
- お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等若しくは利用目的の通知のご請求、または個人情報に関する苦情のお申し出、その他の問い合わせにつきましては、上記照会先までご連絡ください。
- ご回答いただけない場合、本調査に関するお問い合わせに関し、弊社からお答えできない場合があります。

文部科学省 令和6年度幼児教育の学び強化事業
「幼稚園教育要領等に基づく幼稚園等における教育活動の実施状況調査」

アンケート調査項目（管理職向け）

1. アンケート回答方法

- インターネット上で、下記の URL にアクセスのうえ、「**管理職向け調査**」へのご回答をお願いいたします。アンケートサイトにアクセスすると、園 ID、および園パスワードの入力画面が表示されます。アンケート調査実施要領左上に記載の情報をご入力のうえ、ご回答ください。
- アンケートサイトへアクセスするためには、アドレスバーに URL を直接入力してください。Google、Yahoo！等の検索では正しいサイトが表示されないため、ご注意ください。

管理職向けアンケートサイトURL **<https://rsch.jp/eqt3/?youji2024>**



園 ID

パスワード

園 ID、パスワードを入力して、
「アンケートに参加する」ボタンをクリックしてください。

①アンケート調査実施要領左上に記載の ID、パスワード（**半角英数字**）を入力してください。

②入力後、このボタンを押して、アンケートにご回答ください。

入力期限は **令和6年11月1日（金）** です。期限までに入力をお願いいたします。

● 回答方法について

- このアンケートは、特に期日を明記している設問以外はすべて今年度の状況や予定でお答えください。
- 「1つ選択」「いくつでも選択」など回答数が指定されています。あてはまる項目にその数だけ選択してください。また、設問によっては、回答を具体的に記載いただくものもあります。
- 数字をご記載いただく設問について、該当する人等がない場合は「0」とご記載ください。
- Web でご回答いただきますので、記入したアンケート票見本はご返送いただく必要はありません。

● 回答の所要時間について

- 回答にかかる時間は、約 25 分です。

2. アンケート調査項目

1. 基礎的情報

No	設問	選択肢等			
Q1	令和6年5月1日時点の学級別年齢別在園者数について、数字を記入してください。	以下の表中で、それぞれ数字を記入			
	学級名（●●組）	満3歳児 （令和3年 4月2日～ 令和3年5 月1日生ま れ）	3歳児 （令和2年 4月2日～ 令和3年4 月1日生ま れ）	4歳児	5歳児
1		人	人	人	人
2		人	人	人	人
3		人	人	人	人
4		人	人	人	人
5		人	人	人	人
Q2	満3歳児の入園に係る園の方針に合致するものをお答えください。（1つに○）	1. 年間を通して、満3歳に達した時点でその都度入園を認めている 2. 満3歳に達しても、ある時点まで入園は認めず、ある時点が到来したらそれまでの満3歳児の入園を認め、その後は満3歳に達した時点でその都度入園を認めている（例：10月にその時点までの満3歳児を一斉に受入れ、それ以降はその都度入園を認めている） 3. 満3歳に達しても、ある時点まで入園は認めず、ある時点が到来したらそれまでの満3歳児の入園を認めることを繰り返す（例：9月、11月、1月に、それぞれその時点までの満3歳児を一斉に受入れている） 4. その他（ ） 5. 満3歳に達した後の翌年度の4月に一斉入園する形としている（満3歳児は入園を認めていない）			
Q3	（Q2にて1～4と回答した方に） 満3歳児の入園についてお答えください。 （1つに○）	1. 満3歳児と3歳児を同じ学級にしている 2. 満3歳児と3歳児は別の学級にしている 3. その他（ ）			
Q4	地域の0～2歳児を対象とする幼児教育施設との就園に関する連携についてお答えください。（1つに○）	1. 連携している（連携している施設の卒園児を優先的に受け入れている） 2. 特に連携していない			

Q5	貴園の教員・職員数についてお答えください。	以下の表中で、それぞれ数字を記入		
		実人数		
1	園長	人		
2	副園長	人		
3	教頭	人		
4	主幹教諭	人		
5	指導教諭	人		
		主として学級を担当する人数	主として預かり保育を担当する人数	どちらも担当する人数
1	教諭・助教諭・講師	人	人	人
		実人数		
1	養護教諭、養護助教諭	人		
2	看護師等	人		
3	支援員、補助者	人		
4	事務職員	人		
5	用務員・警備員・その他	人		

Q 6	Q 5 にて回答した「園長、副園長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭・助教諭・講師」のうち、次の免許・資格保有者数についてお答えください。	以下の表中で、それぞれ数字を記入	
	教員免許、保育士資格の保有者数 ※1～3で複数免許をもつ場合は、下記の整理で回答してください。 （例）一種免許と二種免許の場合は一種免許と回答 （例）専修免許と一種免許の場合は専修免許と回答	1. 幼稚園教諭一種免許保有者	人
		2. 幼稚園教諭二種免許保有者	人
		3. 幼稚園教諭専修免許保有者	人
		4. 保育士資格保有者	人
		5. 小学校教諭一種免許保有者	人
		6. 小学校教諭二種免許保有者	人
		7. 小学校教諭専修免許保有者	人

2. 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

No	設問	選択肢等	
Q11	貴園では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をどのように活用していますか。あてはまるものをすべて選択してください。	以下の表中で、あてはまるものすべてに○	
		①項目名を活用している (例:「健康な心と体」)	②項目名および各項目の具体的な記述を活用している (例:「健康な心と体」及び「幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる」)
1	教育課程の編成時に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目名又は具体的な記述を使用して話し合ったり、書いたりしている		
2	長期の指導計画（年間計画、月案等）の作成時に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目名又は具体的な記述を使用して話し合ったり、書いたりしている		
3	短期の指導計画（週案、日案等）の作成時に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目名又は具体的な記述を使用して話し合ったり、書いたりしている		
4	指導の過程の振り返り時に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目名又は具体的な記述を使用して話し合ったり、書いたりしている		
5	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目名又は具体的な記述を引用して幼児の育ちや学びを保護者と共有している		
6	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目名又は具体的な記述を引用して幼児の育ちや学びを小学校と共有している		
7	その他（ ）		
8	特に活用していない		

3. 教育課程の役割・編成

No	設問	選択肢等
Q12	教育課程の改善のため、教育課程編成の際にどのような情報・資料等を用いていますか。（いくつでも○）	1.前年の教育課程の振り返り、評価 2.幼児の姿等を記録した資料 3.保護者からの意見や評価等 4.学校評価の結果 5.教職員による話し合い 6.小学校からの意見や評価等 7.地域からの意見や評価等 8.有識者等（学校関係者評価の委員や、園内外研修講師など）からの意見や評価等 9.その他（ ）

4. 指導計画の作成

No	設問	選択肢等
Q13	貴園において、教育活動に関する指導計画として作成しているものとして当てはまるものをお答えください。（いくつでも○） ※同じ様式に複数の計画を作成している場合は両方に○をしてください。（例） 週・日案を作成している場合は週案と日案に○	1.年間指導計画 2.期（学期、発達の時期）単位の指導計画 3.月単位の指導計画（月案） 4.週単位の指導計画（週案） 5.日単位の指導計画（日案） 6.いずれも作成していない

5. 幼児理解に基づいた評価の実施

No	設問	選択肢等
Q14	評価の妥当性や信頼性を高めるために、貴園で行っていることについて教えてください。（いくつでも○）	1.写真付きの記録を作成したりエピソードを記録したり等、評価の参考となる情報をできるだけ充実させる 2.複数の教職員で判断の根拠となっている考え方を突き合わせ、多面的に幼児を捉えている 3.教職員同士で保育を見合い、フィードバックを行っている 4.評価や記録の取り方に関する園内研修を行っている 5.評価や記録の取り方に関する園外研修の受講を教職員に勧めている 6.幼児の発達の状況を日頃から保護者に伝え、幼児が育つ姿を共有している 7.幼児の発達の状況を次の保育者または小学校等に伝え、幼児が育つ姿を共有している 8.公開保育を行い、フィードバックを受けている 9.保護者の保育参加を行い、フィードバックを受けている 10.その他（ ） 11.特にない

6. 特別な配慮を必要とする幼児への指導

No	設問	選択肢等
Q15	貴園にて特別な配慮を必要とする幼児への指導に関して行っていることのうち、障害のある幼児などに関する内容について教えてください。（いくつでも○）	1. 障害のある幼児などの支援に向けた園内委員会を設置している 2. 特別支援教育コーディネーターを配置している 3. 特別支援学校等に対し専門的な助言又は援助を要請している 4. 障害のある幼児の指導に当たり、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成している 5. 保護者が子供の障害を理解したり、将来への不安を取り除くようにしたりできるよう、精神的な援助や養育に対する支援を行っている 6. 小学校との連携のため、指導要録の送付以外に当該幼児の情報を共有したり、小学校教員が園を訪問したりしている 7. その他（ ） 8. 障害のある幼児などがいない
Q16	貴園にて特別な配慮を必要とする幼児への指導に関して行っていることのうち、外国人幼児などに関する内容について教えてください。（いくつでも○）	1. 外国人幼児などの指導に当たり、母語を用いた挨拶や言葉かけを行っている 2. 外国人幼児などの指導に当たり、保護者に園生活や園の方針を丁寧に説明している 3. 小学校との連携のため、指導要録の送付以外に当該幼児の情報を共有したり、小学校教員が園を訪問したりしている 4. その他（ ） 5. 外国人幼児などがいない
Q17	その他、幼稚園の運営上の留意事項として行っていることについて教えてください。（いくつでも○）	1. 地域の幼稚園、保育所、認定こども園の乳幼児との交流の機会を設けている 2. 地域の小学校の児童との交流の機会を設けている 3. 地域の中学校や高校の生徒との交流の機会を設けている 4. 地域の小学校との間で、教職員同士が互いの教育内容等について理解できるような機会を設けている（保育・授業参観、連絡会等） 5. 障害のある幼児児童生徒との交流や共同学習の機会を設けている 6. その他（ ） 7. 特にない

7. 教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動

No	設問	選択肢等
Q18	教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動（いわゆる「預かり保育」）において、主にどのような場所で活動を行っていますか。当てはまるものをお答えください。（いくつでも○）	1.主に預かり保育で使用している保育室 2.教育課程に係る活動で使用している保育室 3.遊戯室 4.その日に空いている保育室 5.園庭 6.その他 ()
Q19	教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動（いわゆる「預かり保育」）において、主にどのような活動を行っていますか。当てはまるものをお答えください。（いくつでも○） また、2～9を選択した場合、()内に具体的な活動の例をお答えください。	1.原則、幼児がしたいことを選んで活動している 2.教育課程に係る教育時間中では経験できない活動をするようにしている () 3.戸外で思い切り取り組める活動をするようにしている () 4.時間をかけてじっくり取り組める活動をするようにしている () 5.家庭で経験するような内容を取り入れるようにしている () 6.ゆったりと落ち着いて遊べる活動を取り入れるようにしている () 7.異年齢の幼児との関わりが深まるようにしている () 8.季節を感じる活動をするようにしている () 9.その他 ()
Q20	教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動（いわゆる「預かり保育」）について、以下のような課題があればその理由とともに具体的にお答えください。 （預かり保育における活動と、教育課程に基づく活動とを関連付けることが難しい。 ／預かり保育を担当する先生と、教育課程に係る教育時間を担当する先生との情報共有が難しい。／預かり保育を利用する保護者と、教育課程に係る教育時間を担当する先生との連携が難しい。など）	

8. 子育て支援

No	設問	選択肢等
Q21	貴園にて行っている子育て支援を教えてください。（いくつでも○）	1. 地域の子育て家庭に対する園舎や園庭の開放 2. 地域の子育て家庭に対する相談対応 3. 地域の子育て家庭に対する情報提供（子育て講座の開催など） 4. 0歳～満3歳未満の未就園児を対象とした親子登園などの保育活動 5. 通園する保護者同士の交流機会の提供 6. 高齢者、ボランティア団体、子育てサークルなどとの交流 7. 地域の子育て家庭が使える預かり事業（一時預かり等） 8. その他（ 9. 特にない

9. ICT 整備の状況

No	設問	選択肢等
Q22	貴園の ICT に係る環境について、保有・活用しているものをお答えください。（いくつでも○）	1. 教員用の園務用パソコン 2. 教員用の園務用タブレット 3. 教員用の園務用スマートフォン 4. 教育活動で使用するパソコン 5. 教育活動で使用するタブレット 6. 教育活動で使用するスマートフォン 7. 教育活動で使用するテレビモニター 8. 幼児向けに開発されたアプリケーションソフト 9. 園務用無線 LAN、Wi-Fi、LTE 等 10. 教育活動用 LAN、Wi-Fi、LTE 等 11. その他（ 12. 特にない
Q23	貴園において、ICT 機器を活用して教育活動を実施する際、どのような目的で活用していますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも○）	1. 記録をして友達や先生と共有するため 2. 記録をして繰り返し見るため 3. 拡大したり裏側・内側などを見たり、音や声を聞いたりするため 4. 離れたところの人とコミュニケーションをとったり、場を共有したりするため 5. 表現活動を行うため 6. 表現の幅を広げるため（園児が紙に描いた絵を ICT 機器で動かすなど） 7. 情報を探したり、より詳しく調べたりするため 8. その他（
Q24	ICT 機器を活用して教育活動を実施した際に、想定していたような活動にならなかったり、幼児の発達にふさわしくなかったりしたことがあれば、具体的にお答えください。	

Q25～Q27 につきましては、動物の愛護及び管理に関する法律等の一部を改正する法律（令和元年法律第39号）附則第8条第1項におきまして、動物を取り扱う学校における動物の飼養・保管の状況を勘案して今後の在り方について検討することとされていることを踏まえて実施いたします。御協力よろしくお願い申し上げます。

10. 園における動物の飼育

No	設問	選択肢等
Q25	<p>動物の飼育状況（予定を含む。）について、当てはまるものを選択してください。</p> <p>※1～3 に該当する場合には、他に、幼児個人の所有・占有により保育室内で昆虫等の動物を飼育している場合等があったとしても、4 ではなく、1～3 を選択してください。（1 つに○）</p>	<p>1 .園が動物を所有して飼育している（予定を含む）</p> <p>2 .他施設等からの貸し出しにより園が動物を飼育している（予定を含む）</p> <p>3 .1、2 の両方により園が動物を飼育している（予定を含む）</p> <p>4 .1～3 以外（幼児個人の所有・占有により、保育室内で昆虫等の動物を飼育している場合等）</p>
Q26	<p>Q 25 で 1～3 と回答した、園で飼育している（予定を含む）の動物の種類について当てはまるものを選択してください。（いくつでも○）</p> <p>※「幼児個人の所有・占有により、保育室内で昆虫等の動物を飼育している場合等」に該当する動物については含めずに回答してください。</p>	<p>1 .哺乳類</p> <p>2 .鳥類</p> <p>3 .爬虫類</p> <p>4 .哺乳類・鳥類・爬虫類以外の動物</p>
Q27	<p>Q 26 で 1～3 のいずれかを回答した動物について、休日や長期休業中の管理体制について伺います。教育委員会、地域のボランティア、保護者・幼児の協力を得ること等により、休日や長期休業中も清掃や給餌等の管理が行われる体制を整えていますか。（1 つに○）</p>	<p>1 .整えている（動物の飼育を開始するまでに整える予定である場合を含む）</p> <p>2 .整えておらず、不適切な状態を招く可能性がある</p> <p>3 .その他（具体的に記載： ）</p>

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

園 ID :
園パスワード :

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社から 10 月
上旬に直接送付される実施要領に記載があります。

文部科学省 令和 6 年度幼児教育の学び強化事業

「幼稚園教育要領等に基づく幼稚園等における教育活動の実施状況調査」

アンケート調査実施要領（各学年担当教員向け）

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

本調査は、文部科学省より委託を受け、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社が実施しております。本「アンケート調査実施要領」をご参照いただき、ご案内しております Web 上のアンケート調査サイトにご回答を入力いただきますようお願い申し上げます。

I. 調査目的

- 本アンケートは、全国の幼稚園・幼稚園型認定こども園（抽出）の皆様を対象に、幼稚園等における教育活動等の実態を把握し、今後の幼児教育政策の検討に資する基礎資料を得るために実施するものです。本調査の結果につきましては、令和 7 年 4 月以降に文部科学省ホームページ等において公表される予定です。
- アンケートの結果は統計的に処理されますので、個別の園の情報が公表されることはありません。
- ご多忙中とは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

II. 【管理職様へ】回答者の選び方

各学年担当教員向け調査は、貴園の各学年（3 歳児、4 歳児、5 歳児）の学級担任のうち、各学年で 1 名の方（例：3 年保育の場合、合計 3 名）を対象としています。各学年の学級担任が 2 名以上の場合は、同じ学年の教員から回答対象を 1 名お選びください。（教員同士で相談しながらお答えいただいても構いません。）

※異年齢混合学級の場合は、園で 1 名の方のみの回答で構いません。

Ⅲ. 【ご回答者様へ】ご回答方法・期限

- インターネット上で、下記の URL にアクセスのうえ、「各学年担当教員向け調査」へのご回答をお願いいたします。アンケートサイトにアクセスすると、園 ID、園パスワード、担当学年の入力画面が表示されます。園 ID、園パスワードについては、本紙 1 ページ目左上に記載の情報をご入力のうえ、ご回答ください。
- アンケートサイトへアクセスするためには、アドレスバーに URL を直接入力してください。Google、Yahoo！等の検索では正しいサイトが表示されないため、ご注意ください。
- 調査票見本は、アンケートサイトのトップページに記載のリンクからダウンロードいただくことができます。
(Web で回答いただきますので、記入済みの調査票をご返送いただく必要はありません)
- アンケートサイトへアクセスできない場合や、調査票見本をダウンロードできない場合は、事務局あてにメール (youji2024@murc.jp) をいただければ、調査票データをメールまたは紙にて送付いたします。

アンケートサイトURL <https://rsch.jp/eqt4/?youji2024kyouin>



園 ID
パスワード
担当学年

園 ID、パスワード、担当学年を入力して、
「アンケートに参加する」ボタンをクリックしてください

③入力後、このボタンを押して、
アンケートにご回答ください。

上記に同意してアンケートに参加する

①本紙 1 ページ目左上に記載の ID、パスワード（**半角英数字**）を入力してください。

②担当学年を選択してください。

- ・3 歳児学級担当の方
➡「3」を選択
- ・4 歳児学級担当の方
➡「4」を選択
- ・5 歳児学級担当の方
➡「5」を選択
- ・異年齢混合学級担当の方
➡「6」を選択

入力期限は **令和 6 年 11 月 1 日（金）** です。期限までに入力をお願いいたします。

Ⅳ. ご回答いただくにあたって

● 利用目的

- ご回答いただいた内容は、今後の幼児教育政策の検討の基礎資料としてのみ利用いたします。また、すべて統計的に処理されますので、個々の調査票のご回答や結果が、調査実施者以外に知られることはございません。

● 回答方法について

- このアンケートは、特に期日明記している設問以外はすべて今年度の状況や予定でお答えください。
- 「1つ選択」「いくつでも選択」など回答数が指定されています。あてはまる項目にその数だけ選択してください。また、設問によっては、回答を具体的にご記載いただくものもあります。
- 数字をご記載いただく設問について、該当する人等がない場合は「0」とご記載ください。
- Webでご回答いただきますので、記入したアンケート票見本はご返送いただく必要はございません。

● 回答の所要時間について

- 回答にかかる時間は、約20分です。

● アンケートサイトの機能

- 途中保存・回答再開**：アンケートに途中まで回答し、画面を閉じた場合（回答を中断した場合）、続きの設問から回答することができます。**※途中保存後の回答再開には、園ID・園パスワード・担当学年の入力が必要です。**
- 回答の修正**：「送信ボタン」を押す前であれば、前の設問に戻って、回答を修正することができます。一方、前の設問まで戻ると、その設問まで入力いただいた回答はクリアされてしまいますのでご注意ください。**※回答の修正には、園ID・園パスワードの入力が必要です。**
- 回答内容の出力**：回答の送信前に、全設問の回答内容が一覧として表示されます。回答内容の一覧ページを印刷していただくことで、お手元に回答の控えを残すことができます。
- 回答の確定**：最終の「送信」ボタンを押すと回答が確定されます。**回答確定のために、必ず「送信」ボタンを押してください。**なお、その後、回答の修正ができなくなりますので、ご注意ください。

◆問い合わせ先◆

【調査実施機関】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

○本調査の設問の内容等について	○アンケートサイトでの操作に関するご不明点について
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 幼稚園等における教育活動の実施状況調査事務局 担当：社会政策部 喜多下、野田、横幕、李 (受付時間：平日10時～12時、13時～17時 ※祝日は除く) 電話番号：03-3496-3329 E-mail： youji2024@murc.jp	アンケートTOP画面の「お問い合わせ窓口」の連絡先もしくはフォームよりご連絡ください。 担当：株式会社クロス・マーケティング (サポート対応時間：平日10時～18時)

※お問い合わせをいただく際は、下記、個人情報の取扱いに同意の上、ご連絡いただければと存じます。

◆個人情報の取扱いについて

- お預かりする氏名、ご連絡先等の個人情報は、本調査の問い合わせへの回答に関するご連絡の目的に限って利用し、厳重に管理いたします。
- お預かりする個人情報は、当社の「個人情報保護方針」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>) 及び「個人情報の取扱いについて」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy02/>) に従って適切に取り扱います。
- お預かりする個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。
- お預かりした個人情報は、本事業担当である文部科学省に対して提供する場合がござります。また、業務委託により当社以外の第三者にその取り扱いを委託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報を適切に取り扱います。
- お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等若しくは利用目的の通知のご請求、または個人情報に関する苦情のお申し出、その他の問い合わせにつきましては、上記照会先までご連絡ください。
- ご回答いただけない場合、本調査に関するお問い合わせに関し、弊社からお答えできない場合があります。


文部科学省 令和6年度幼児教育の学び強化事業
「幼稚園教育要領等に基づく幼稚園等における教育活動の実施状況調査」

アンケート調査項目（各学年担当教員向け）

1. アンケート回答方法

- インターネット上で、下記の URL にアクセスのうえ、「各学年担当教員向け調査」へのご回答をお願いいたします。アンケートサイトにアクセスすると、園 ID、園パスワード、担当学年の入力画面が表示されます。園 ID、園パスワードについては、アンケート調査実施要領左上に記載の情報をご入力のうえ、ご回答ください。
- アンケートサイトへアクセスするためには、アドレスバーに URL を直接入力してください。Google、Yahoo！等の検索では正しいサイトが表示されないため、ご注意ください。

アンケートサイトURL <https://rsch.jp/eqt4/?youji2024kyouin>



園 ID

パスワード

担当学年

園 ID、パスワード、担当学年を入力して、
「アンケートに参加する」ボタンをクリック

上記に同意してアンケートに参加する

①アンケート調査実施要領左上に記載の ID、パスワード（半角英数字）を入力してください。

②担当学年を選択してください。

- ・3 歳児学級担当の方
⇒「3」を選択
- ・4 歳児学級担当の方
⇒「4」を選択
- ・5 歳児学級担当の方
⇒「5」を選択
- ・異年齢混合学級担当の方
⇒「6」を選択

③入力後、このボタンを押して、アンケートにご回答ください。

入力期限は **令和6年11月1日（金）** です。期限までに入力をお願いいたします。

● 回答方法について

- ・このアンケートは、特に期日明記している設問以外はすべて今年度の状況でお答えください。
- ・「1 つ選択」「いくつでも選択」など回答数が指定されています。あてはまる項目にその数だけ選択してください。また、設問によっては、回答を具体的にご記載いただくものもあります。
- ・数字をご記載いただく設問について、該当する人等がない場合は「0」とご記載ください。
- ・Web でご回答いただきますので、記入したアンケート票見本はご返送いただく必要はございません。

● 回答の所要時間について

- ・回答にかかる時間は、約 20 分です。

2. アンケート調査項目

1. 幼児理解に基づいた評価の実施

No	設問	選択肢等
Q1	ご自身の指導の過程について評価する際に、振り返っている視点として当てはまるものをお答えください。（いくつでも○）	1. 幼児がどのような姿を見せていたか 2. 幼児がどのように変容しているか 3. 幼児が見せる姿が生み出されてきた状況はどのようなものであったか 4. 教師の関わり方は適切であったか 5. 幼児の生活の実態や発達の理解が適切であったか 6. 指導計画で設定したねらいや内容が適切であったか 7. 環境の構成や再構成が適切であったか 8. 幼児の活動に沿って必要な援助や再構成を行ったか 9. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いた幼児の姿 10. 幼児の具体的な姿から捉えられる「幼稚園教育において育みたい資質・能力」 11. その他（ ） 12. 特になし
Q2	貴園では、教育活動に関する記録をどのようにとっていますか。（いくつでも○）	1. 手書きで文章のみを記載している 2. 手書きの文章と写真を記載している 3. PC、タブレット、スマホ等で作成した文章のみを記載している 4. PC、タブレット、スマホ等で作成した文章と写真を記載している 5. 写真付きの記録に特化したアプリやクラウドサービスを利用している 6. その他（ ） 7. いずれも当てはまらない

2. ねらい・内容

No	設問	選択肢等		
Q3	幼稚園教育要領の 5 領域のうち、「健康」に示される「内容」について、日々の実践の中でどの程度重点を置いて指導していますか。	以下の表中で、それぞれあてはまるもの 1 つに○		
		特に重点を置いて指導している	重点を置いて指導している	指導している
1	先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する			
2	いろいろな遊びの中で十分に体を動かす			
3	進んで戸外で遊ぶ			
4	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む			
5	先生や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ			
6	健康な生活のリズムを身に付ける			
7	身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする			
8	幼稚園における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する			
9	自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う			
10	危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する			

No	設問	選択肢等		
Q4	幼稚園教育要領の 5 領域のうち、「人間関係」に示される「内容」について、日々の実践の中でどの程度重点を置いて指導していますか。	以下の表中で、それぞれあてはまるもの 1 つに○		
		特に重点を置いて指導している	重点を置いて指導している	指導している
1	先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう			
2	自分で考え、自分で行動する			
3	自分でできることは自分でする			
4	いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ			
5	友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う			
6	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く			
7	友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう			
8	友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする			
9	よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する			
10	友達との関わりを深め、思いやりをもつ			
11	友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気付き、守ろうとする			
12	共同の遊具や用具を大切にし、皆で使う			
13	高齢者をはじめ地域の人々などの自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ			

No	設問	選択肢等		
Q5	幼稚園教育要領の 5 領域のうち、「環境」に示される「内容」について、日々の実践の中でどの程度重点を置いて指導していますか。	以下の表中で、それぞれあてはまるもの 1 つに○		
		特に重点を置いて指導している	重点を置いて指導している	指導している
1	自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く			
2	生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ			
3	季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く			
4	自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ			
5	身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする			
6	日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ			
7	身近な物を大切にする			
8	身近な物や遊具に興味をもって関わり、自分なりに比べたり、関連付けたりしながら考えたり、試したりして工夫して遊ぶ			
9	日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ			
10	日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ			
11	生活に関係の深い情報や施設などに関心や関心をもつ			
12	幼稚園内外の行事において国旗に親しむ			

No	設問	選択肢等		
Q6	幼稚園教育要領の 5 領域のうち、「言葉」に示される「内容」について、日々の実践の中でどの程度重点を置いて指導していますか。	以下の表中で、それぞれあてはまるもの 1 つに○		
		特に重点を置いて指導している	重点を置いて指導している	指導している
1	先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする			
2	したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する			
3	したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする			
4	人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す			
5	生活の中で必要な言葉が分かり、使う			
6	親しみをもって日常の挨拶をする			
7	生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く			
8	いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする			
9	絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう			
10	日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう			

No	設問	選択肢等		
Q7	幼稚園教育要領の 5 領域のうち、「表現」に示される「内容」について、日々の実践の中でどの程度重点を置いて指導していますか。	以下の表中で、それぞれあてはまるもの 1 つに○		
		特に重点を置いて指導している	重点を置いて指導している	指導している
1	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ			
2	生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする			
3	様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう			
4	感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする			
5	いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ			
6	音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう			
7	かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする			
8	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう			

No	設問	選択肢等
Q8	<p>5 領域（健康、人間関係、環境、言葉、表現）について、実際に指導を行う際に気を付けていることや、環境を構成する上で工夫されていることはありますか。</p> <p>具体的なエピソードや指導内容についてお書きください。</p>	
Q9	<p>上述の具体的なエピソードが該当する学年についてお答えください。（いくつでも○）</p>	<p>1.3 歳児学級</p> <p>2.4 歳児学級</p> <p>3.5 歳児学級</p> <p>4.異年齢混合学級</p>